

◇ 長谷弘太郎氏 ◇

(地質調査業の地位向上にむかって)



長谷弘太郎氏

㈱長谷地質調査事務所代表取締役会長
東北地質調査業協会理事長

昭和35年に会社を創設（設立）以来、技術と経営に専念、昭和62年会長に就任された後も多くの公職で大変お忙しい日々のご様子。

理事長は、大学卒業後まもなく会社を創設し、自らボーリングの機械を持って調査し、土質試験機購入のかたわら東北大学の河上先生（現八戸工業大学学長）の聴講生として土質力学を勉強されたと若き日の技術に専念された頃を思い出深く語られました。

また、会社経営の面での一番苦勞された話として、「会社創立時、父親からの援助がなく（銀行だけは紹介してくれた）資金繰りに困り、いまでいう高利貸しから借金をして経営していた頃」と懐かしく語る理事長です。

現在、東北地質調査業協会の理事長を初め、社団法人宮城県専修学校、各種学校連

合会の会長等公職を多く兼ね各方面で、ご活躍されており昭和62年に建設大臣表彰、平成元年には、黄綬褒章を受賞なされた。

学位論文の「宮城県の沖積平野の地質学的研究」は種々の論文に引用され宮城県の沖積平野の古典的論文となっている。

趣味はゴルフと史実物の読書、酒は量より酒席の雰囲気を楽しむほうで、酔うほどに“ふるさと論”を語り「ササニシキ」を論じては農家顔負けとか。

生まれは、生粋の仙台生まれ、学校法人長谷学園の四代目で教育一家に育ったとのこと。

協会も一昨年創立30周年をむかえ21世紀に向けて第二国土軸の東北開発が更に進み調査業の役割も重くなると予想される昨今、仕事の量は多くなると同時にいわゆる“3K”の業種と見られている地質調査業の社会的な地位の向上をめざして今後も努力されたいとの事でした。

ワープロのキーを御自分でたたかれるままだまだお若い理事長でした。

Profile

昭和3年生 63才

昭和32年 東北大学大学院卒

昭和35年 ㈱長谷地質調査事務所社長

昭和62年 ㈱長谷地質調査事務所会長

趣味はゴルフ・読書

家族は、青葉区支倉町の自宅に夫人と子息2人の4人暮らし。